

# ニュースクリップ & 映像教材

- 「第16回すかがわ国際短編映画祭」開催
- 「第3回教育改革国際シンポジウム」開催
- JAPET「第20回教育情報化政策セミナー」開催
- (財)松下視聴覚教育研究財団「第15回研究賞」受賞者決定

## AV情報

### ■「第16回すかがわ国際短編映画祭」

広く映像文化に対する理解を深めるとともに、地方文化の振興と国際文化交流を推進することを目的に、標記映画祭が今年も福島県須賀川市において開催される。

〈開催日〉

平成16年5月14日(金)～16日(日)

〈会場〉

福島県須賀川市文化センター  
(須賀川市牛袋町11番地)

〈主催〉

すかがわ国際短編映画祭実行委員会、須賀川市、須賀川市教育委員会

〈入場料〉

1日券：500円／3日券：800円

〈参集予定人員〉

2,500人

〈問い合わせ先〉

すかがわ国際短編映画祭実行委員会

TEL0248-75-1111 (内線444)

## 研究会情報

### ■第3回教育改革国際シンポジウム「今後の教育の情報化推進の国際動向」～ポスト2005の日本を考える～

今後のITの進歩や社会が求める人材の能力、学校教育における指導内容と指導法、地域・学校・家庭との連携のあり方など、あらゆる角度から教育の情報化推進の国際動向について討論する標記シンポジウムが国立教育政策研究所ならびに文部科学省の主催により下記の内容にて開催される。

〈開催日時〉

平成16年3月15日(月)

13:30～17:30

〈会場〉

一橋記念講堂

(東京都千代田区一ツ橋2-1-1)

〈内容〉

○基調講演

藤田明博氏(文部科学省大臣官房審議官生涯学習政策局担当)

○プレゼンテーション

「諸外国における今後の教育の情報化政策」／英国、韓国、シンガポール、米国の政策担当者あるいは政策研究者を招聘

○パネル対論

司会：清水康敬氏(国立教育政策研究所教育研究情報センター長)／パネリスト：リチャード・ピエトラシク氏(英国、元教育コミュニケーション機関学校部長)他3名を招聘

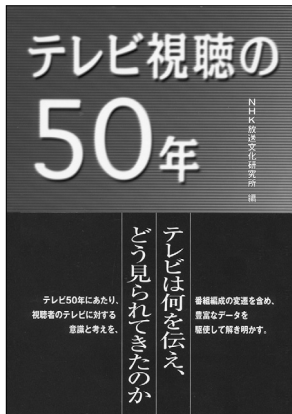
〈参加申し込み〉

Webサイトから申し込みのこと。  
<http://www.nier.go.jp/>

### ■「第20回教育情報化政策セミナー」開催

—2004各省の新展開！—  
『ICT活用と新・地方の時代の

## ブックレビュー



## 「テレビ視聴の50年」

NHK放送文化研究所編 日本放送出版協会 2003年11月刊 A4判 301頁 2,600円(税別)

日本でテレビ放送が始まって50年、その歩みを日本の社会の中に位置づけて考察しようとしたのが本書である。

NHK放送文化研究所は、これまでもテレビ放送番組の編成と、それを視聴する国民の、テレビに対する、または生活全般に対する対応について、定点観測的な調査を実施してきた。

本書では、そうした調査研究の蓄積を骨組みとして、テレビ放送の番組編成の流れを概観するとともに、それを受けとめる人びとの視聴行動の変化を跡づけている。

第1部は「番組と編成の50年～テレビは何を放送してきたか～」として、ほぼ10年ごとの区切りで、主要番組をあげながら、番組編成の特色をみているが、興味深いのは、娯楽中心の時代か

ら報道・教養の重視に移り、さらにそれらを混然と一体化した番組編成の波が起こり、「オフ・ジャンル化」の時代に動きつつある、という。一方、テレビ受像機の普及によって、一時期騒がれた「チャンネル権」争いが姿を消し、家族団欒の中心としてのテレビの存在もまた忘れられてしまった、ということをし、あらためて思い起こさせられた。

第2部「テレビ50年の視聴者」は、そういう状況の変化を下敷きに、視聴時間の変化、男女や年齢などの要因がテレビ視聴とどう関わっているか、を概括する。

最後に、デジタル時代の到来や新しいメディアの登場で、テレビ視聴がどう変わるかを展望しているのが興味深く、有益な書である。(高桑康雄)

教育に向けて』と題し、省庁連携パネルディスカッションが(社)日本教育工学振興会の主催により下記の内容にて開催される。

〈開催日時〉

平成16年3月11日(木)

13:00～17:00

〈会場〉

ホテルフロラシオン青山

(東京都港区南青山4-17-58)

〈パネルディスカッション〉

○コーディネータ：坂元昂氏(メディア教育開発センター所長)

○パネリスト：森本浩一氏(文部科学省生涯学習政策局学習情報政策課長)／坂本森男氏(総務省自治財政局交付税課長)／飯島信也氏(総務省情報通信政策局情報通信利用促進課長)／嶋田隆氏(経済産業省商務情報政策局情報処理振興課長)

〈参加申し込み〉

下記のWebサイトからか、あるいは事務局より申込用紙を入手しFAXにて申し込むこと。

〈問い合わせ先〉

(社)日本教育工学振興会

東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル

TEL 03-5251-0751

FAX 03-5251-0752

<http://www.japet.or.jp/>

## コンクール情報

## ■(財)松下視聴覚教育研究財団「第15回研究賞」受賞者決定

(財)松下視聴覚教育研究財団は、このほど標記「研究賞」の受賞者を発表した。この賞は、実践研究助成の助成者から研究成果を育て深めるために、視聴覚メディア・情報メディアの活用研究報告を募集し、褒賞的助成を行うもので、該当は次の通りである。

〈文部科学大臣賞〉

「子ども制作ビデオ作品を地元CATVの番組で放映するプロジェクト学習の研究」(岡山県笠岡メディア・リテラシー教育カリキュラム開発研究会)

〈理事長賞〉

「ふるさとの環境に主体的にかかわり、自己の学びを創る子どもの育成」(茨城県美浦村立大谷小学校)

「『映像ディベート』によるメディアリテラシー教育への取り組み」(沖縄県立開邦高等学校マルチメディア教育研究会)

その他、森戸辰男記念賞に2受賞先が決まった。

## 短 信

## ■(株)朝日コミュニケーションズは事務所を移転した。

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-18-4 キャピタルプラザ401  
TEL 03-5331-8991  
FAX 03-5331-8990